

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都千代田区岩本町 2-10-12
園名	岩本町ちとせ保育園 2 歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ひかり

<テーマの設定理由>

戸外での遊びの際、自分の影に興味を持ち観察したり、光の反射をじっと見ている様子がよく見られていた。

2. 活動スケジュール

7 月～ 光の反射、影の動きの観察
11 月～ 影あそび
12 月～ 転写あそび
1 月～ ライトテーブルで遊ぶ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

室内環境：遊戯室に暗幕を設置、日光を遮れるように部屋を暗くし、光を明確に観て感じられるように設定。

物的環境：懐中電灯、カメラを用意、動物や図形などの絵をラップに描き、紙コップに設置した物、紙コップにシールを貼った物
ライトテーブル、レインボーブロック、オクトレンズ、マグビルド、カラーセロハンを貼った眼鏡

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 暗幕を貼った遊戯室で、天井に移る影絵を見つけて、その変化や動き、形を楽しむ。
- ・ 自分で作成したコップのシールが、どのように映るのかを期待や想像をもって楽しむ
- ・ 暗い室内にライトテーブルを設置し、レンボーブロック、カラーセロハンで遊ぶ
- ・ 暗い室内で懐中電灯を使って遊ぶ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 暗幕を閉めると初めは暗くなった室内を怖がる姿もあったが、影で遊ぶうちに楽しさや面白さを感じられるようになった。「上になにかいる！」「動いてる！？」「すごい！！」「ちょうちょとんできた！」と声を出し楽しむ姿が見られた。
- ・ 転写では、「何がみえるかな」等と作成したものを想像しながら楽しみ、転写した影が大きくなったり小さくなるその変化を喜んで見ていた。自分たちが貼ったシールの影に気付いて、「これ作った！」と喜んで見ていた。
- ・ カラーセロハンにライトを当て、部屋の色を変えた。壁が青になると「海の中みたい」と青のものを連想していた。黄色、緑と色が変わると色ごとに連想をして楽しんでいた。
- ・ 暗幕を設置して、ライトテーブルの上でレインボーブロックを使って遊ぶ。ブロックが透けて見え「きれいだね」と嬉しそうだった。カラーセロハンを貼った虫眼鏡でレインボーブロックを見るとさらに色が変わることに気が付き、「色が変わったよ」と虫眼鏡ごしに作った物を見て楽しんでいた。眼鏡を二つ手に取り、二つの色で覗いたり、眼鏡を重ねて混ざった色で楽しんでいる姿も見られた。「青になった、赤になった」「海のなかにいるみたいだね（青）」「ちょうちょの色だね（黄）」等の子どもたちの声があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

光を当てる距離によって、影絵の大きさの違いをととても楽しんでおり、絵や道具の準備の際に様々な大きさのものを用意し、その変化を探求したり発見することも今後出来ると思った。道具を子ども達が自身で作れる工夫を行っていきたい。

シールの種類を変えたり大きさや色、光を通すものなど様々な素材で作成し、その違いや光の通りを観察できるように工夫しても良いと考えた。

レインボーブロック等の既存道具も楽しんで観察し扱っていたが、カラーセロハンの眼鏡等、自分で動かせるものを使用し、自分の目線で遊んでいた。このことから、自分たちで光をテーマにした道具や色をメインにした道具等を作成し、その見え方や様々な素材の違いを観察したり考えられるように工夫できると思った。